

# ★ ☆ ★ 人形劇 ★ ☆ ★

技術交流・人形劇グループの報告です！

報告は、『技術交流の様子』と『技術などの具体的な解説』を載せたいと思います♪

## ★ 技術交流の様子 ★

### ◆ 大まかな流れ ◆

- ・ 自己紹介・挨拶など
- ・ 知識・技術の共有
- ・ 人形劇の実践 — ストーリー作り、人形・小道具の製作、演技・練習、上演

人形劇の技術交流は、おおまかにこのような流れで行われました。

ではでは、この流れに沿って、その様子を報告していきます◇

### ◆ 自己紹介・挨拶など ◆

まずは、自己紹介◎ 名前と、自分と人形劇との関わりなどを話しました。

人形劇は全く始めてというメンバーから、サークルで人形劇を専門に活動しているメンバー、普段影絵を専門に活動しているメンバーなどが集まりました。



<メンバー>

あっちゃん ★ たあちゃん ★ タッキー ★ チック  
テルマ ★ 真由子 ★ みほ ★ もっくん ★ もりりん

### ◆ 知識・技術の共有 ◆

様々な人形を、実際に見て触って、動かしてみながら、作り方や遣い方などについて学び合いました◇  
また、難易度などの観点から、「子どもができるか」ということを考えたりもしました。

大学が違えば、同じ人形劇でもやり方は様々！  
知識やアイデアも様々でした◎



← ロボットのテツオ  
ダンボールでできています！



大人気だった山賊。  
背中から手を入れるタイプのギニョール人形です◇

★ちなみに、始めてギニョール人形を持った人がよくやる動きが、「拍手」と「高速頷き」！ 今回も相変わらず、たくさん見られました♪

## ◆ 人形劇の実践 ◆

実践です！ 人形劇を0から作り、実際に体験しました◎

### 1. ストーリー作り

まず、パロディーでの話を作ること決定。それから、基本にする話の候補（有名所の物語）を挙げていき、「こんなのおもしろそう」というアイデアを自由に話しながら、基本とする物語を絞りました。決まったのは『桃太郎』！ 最後に、たくさん出たアイデアを整理しながら、登場人物と大体の流れを決めました◎

☆『力太郎』ってどんな話か知ってますか？

「それってどんな話だっけ？」「～って話だよ」のようなことも多々。知らなかった話の内容、同じ物語でも違ったパターン、また、裏にある深い意味や込められた教訓などについてもたくさん知ることができました！



テツオも出る？

### 2. 人形・小道具の製作

今回は、既にある人形も使いながら、いくつかの登場人物を牛乳パック人形、紙コップ人形で作りました。小道具は、桃ときび団子！ 折紙の知識を使ってきび団子の入れ物を作ったり、桃を割れる構造にしたり、持つ棒を、紙で作りつつ強度を持たせるために立体に組んだり…アイデアが駆使されました。



人形作りは、図画工作のセンスが現れます↑↑  
斬新なデザインが出てきておもしろい♪



完成した牛乳パック人形と紙コップ人形→

☆紙コップ人形は、はさみの入れ方によっては顎がしゃくれます！ 今回も見事なしゃくれっぷりが発生しました。  
お作りの際にはしゃくれにご注意ください♪

### 3. 演技・練習

いよいよ演技です！ 大まかな流れに沿って台詞をアドリブでつけていき、細部を具体的に作りながら、人形劇の練習をしました。

時間があまりなく少々慌しかったのですが、みんなの台詞やアイデアがスムーズに出て、とてもテンポが良く、なんとか出来上がりました！

☆ここで出た演じる時のポイントは、『技術などの具体的な解説』をご覧ください◇

#### 4. 上演

上演！交流キャンプの参加者皆様に見てもらいました！

大変狭いけこみ（「けこみ」『技術などの具体的な解説』に用語解説あり◇）の裏では、すれ違うのにあくせくしながら皆で行ったりきたり！でき立てほよほよの人形劇を、精一杯、楽しみながらお送りしました。

ちなみに、でき上がったのは、こんな↓お話（けこみの裏に書いてあった（カンペ？）あらすじです◎）

#### 『桃太郎？』

桃が流れてくる → ばば拾う、じじ切る → 桃太郎登場（いきなり鬼ヶ島へ行く） → 仲間集め（犬・猿→亀（断る）→ロボット） → 鬼ヶ島 → 桃全滅（仲間自滅） → 亀登場 → ボス倒す → Happy end



「亀ライダーかっこいいー！！」



美しすぎるラスボス乙姫様◇

#### <登場人物>

桃太郎（普通の人）…もっくん

亀（超強い、超かっこいい）…テルマ

ラスボス（乙姫）…たあちゃん

山賊（乙姫の子分）…真由子

仲間 犬…みほ、猿…もりりん、ロボット…タッキー

おじいさん…タッキー

おばあさん…あっちゃん

カメをいじめるうさぎ…チック



見ている皆様からは笑い声がたくさん聞こえて、嬉しかったです◇



以上、技術交流の様子のご報告でした！

続きましては、技術などの具体的な解説です♪

#### ★ 技術などの具体的な解説 ★

#### ◆ 人形について ◆

## —ギニョール人形—



主に人形の中に手を入れて遣う形の、片手遣いの人形。  
ここでは、代表的なものの一つとして特に詳しく紹介します◇

### <遣い方>

- ・人差し指を頭に、親指と、小指もしくは中指を入れて遣う。小指と中指の違いは、中指だと物を持ったりすることがやりやすく、小指だと人形の姿勢がきれいになる。
- ・頭や手に入っていない指が出て、胸を張ったようになってしまいがちなので、気をつける。
- ・腕をまっすぐ（肘の角度が90°で）立てると、人形が前のめり。腕は結構曲げて、手首を少し前に曲げるようにすると人形の姿勢がよくなる。
- ・手首の力は抜く。手首に力が入っていると人形の動きがぎこちない。ただ、頭を支える人差し指にだけは力を入れておく。☆力加減はなかなか難しい（慣れです◎）

### <材料>

発泡スチロール（頭、場合によっては手足。球体のもの、もしくは大きなものから削ってかたどる）、布、目ボタン、接着剤（発泡スチロールが溶ける接着剤があるので注意！発泡用の接着剤も売っています）など  
☆人形の材料は、東急ハンズと、手芸店などで大体揃います。

### <作り方>

#### 1. 頭

##### ①発砲に指を入れる穴を開ける。

素手でほじくれる。太さや深さの目安は、ぶかぶかせずきつくない太さで、人差し指の第二関節まで入るくらいの深さ。☆中心には空けずに、後頭部が小さく、顔面の方が大きくなるように開ける。

##### ②指を入れる穴がしっかりするように、厚紙を筒状にしてはめる。

##### ③布を貼る。球体に布を張るには！

I. 余る部分の布を2、3箇所を集めながらしわがないように包む。

II. 布を引っ張りながら、しわやたるみがないように貼っていく（Iで集めた余る部分はそのままで）。

III. 「余る部分の布」を切り落とす。余分な布が残らないよう、裁ちばさみをぴったりあてながら、えぐるように切り取る。ちなみに、この作業は「ちょっきん」とか呼ばれたりする。

☆余る布を集める場所は、顔面部分には持ってこない。球体にタオル地の場合、横と後ろの3箇所がおすすめ。また、伸縮性の高い生地の方が、比較的簡単にきれいにできます◇

##### ④耳など（作り方は、頭同様。かたどった発砲スチロールやウレタンに布を貼る）を付ける。

##### ⑤目をはじめ、顔のパーツをつける。

☆人形劇の人形の目は、離れ気味につけると良い。横を向いても表情があるようにするためです。

#### 2. 胴体

前衣と後衣を作り、縫い合わせて作る（手縫いでできます◎）。☆後衣の方を少し大きめにする。

+布をもう一枚、同じ形に作って中に入れる。手の汗などによる汚れ対策の、取替え可能な布となる。

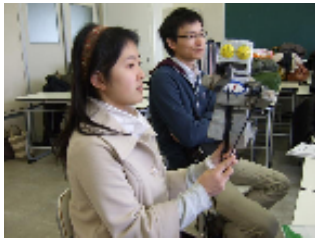
ちなみに、この布は見えない部分の汚れ対策なので使いやすければどのような布でも良い。

#### 3. 頭と胴体を接着剤でくっつけて、完成！



## —その他の人形—

### ①棒使い人形



操作棒（手の部分についている棒）を使って使う人形。

操作棒は、取り外し可能にしないと持ち運びに苦労する。

取り外し可能にするには、操作棒の先をカギ型にして、付ける部分に、引っ掛けられる仕掛けを作る方法がある。

### ②パクパク人形



口をパクパクさせることができる人形。

右下にある黄色い人形、口の部分がぱっくり開いていて、

パクパク動かせる。右の人の姿勢は、そのパクパク人形を持っている時の状態、左手が人形の口に入っている形になっている。ちなみに、操作棒を持つなら、操作棒の方を利き手にした方が扱いやすい。

## —身近な素材で作れる人形—

### ①牛乳パック人形

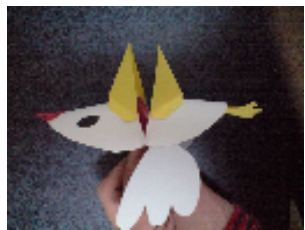


底が口になって、パクパクする人形ができます。

角の側面を、対角で2本切り、底を半分に折るよう開くと、底が口になる。

あとは、切って形を整え、画用紙やマジックなどを使って装飾する。

### ②紙コップ人形



牛乳パック人形と同じように、底が口になる。

作り方も、牛乳パックと大体同じ。ただし、側面に2本はさみを入れる際、紙コップは目安がないので、2つに切られたコップ部分が同じ大きさになるようにしないと、口がしゃくれてしまう。

### ③ペットボトルとマフラーで



ペットボトルを頭に、マフラーで体にして人形を表現するもの。

ペットボトルとマフラーさえあればすぐにできる。ただ、人形に見せるには多少の表現力が必要。

ちなみに、このように演じ手がけこみに隠れず、人形を自分の体と一緒に遣うかたちを『出遣い』という。

## ◆ 演じる時のこと ◆

### －舞台－



人形劇の舞台、けこみ舞台の基本的なものは、「けこみ」  
「そで」「大黒」からなる。

けこみ…前中央部分。役者の姿を隠して、主に人形が出てくる舞台となる部分。

そで…横の部分。

大黒…後ろに立てる部分。バックを黒くするために立てる。

☆観客から見て右を上手、左を下手という。

### －あひる歩き－

人形劇をけこみを使ってしゃがみ姿勢で行う際の、けこみ裏での歩き方。人形が人遣い手の動きに合わせてぶれないよう、上半身をなるべく動かさずに移動するためのもの。

一歩前に出す時、足を外に出しながら前に持ってくるような感じ！膝がいきなり上がらない感じ。

☆なかなかおもしろいので、是非やってみてください◎

### －その他の演じる時のポイント－

#### ①人形の目線

人形劇は、観客が人形より下にいて、少し見上げる状態になっていることが多い（例えば、子どもたちが床に座って見ている時など）。そのため、人形の目線は、少し下げつつもりでいた方が良い◎ 気をつけないと上向きがちである。

また、会話をする相手と目線を合わせる練習も重要。

☆人形の目線の先に観客の目線も行きます。

②人形がけこみに沈んで体が半分しか出ていないような状態、もしくは、人形がけこみから離れて宙に浮いているような状態にならないように注意！

#### ③進行方向に注意！

一方に進んでいる状態を、はけながら（「はける」＝そでに入って退場すること）表す時は、はけたら素早く反対側のそでに行き、反対側から登場する。はけた方から出てきたら戻ってきたように見える。

☆常に一方通行！ 登場や人の配置で上手・下手を考えるのは、なかなか重要です。

#### ④けこみに対して奥に行く時には

下の位置から見ている時は特に、人形が奥に行くと、けこみに下がったように見える。そのため、奥に行く時には、人形を上げながら動くことを意識する。